

JAVA/RICH ENTERPRISE APPLICATIONS TRACK		
セッション	【Java/REA】 Java開発の生産性を向上させるOracle WebLogic Server 10.3の新機能トップ10	Oracle WebLogic Server 10.3には、Java開発者の生産性を向上させるため、RIA開発時に繰り返しおこなう作業を迅速化することに焦点を絞った新しい機能が幅広く取り入れられています。このセッションでは、Oracle WebLogic Serverのさまざまな機能のなかから、Java開発者の作業効率改善がもつとも期待できる10の機能を中心に上げます。トップ10入りしている機能としては、Springフレームワークの緊密な統合と充実したサポート、Javaクラスの高速スワッピング、デプロイメント・プラン、Web 2.0 開発用HTTPパブリッシュ・サブスクリプション機能、高度なデバッグ機能、そしてJava EE 5.0開発のエンド・ツー・エンド更新などがあります。デモを中心としたこのセッションでこれらの新しい機能に触れ、その力を実際に確かめてください。
セッション	【Java/REA】 Oracle Fusion Middleware: アプリケーション・サーバー環境構築のビジョンと戦略	このセッションでは、Oracle Fusion Middlewareアプリケーション・サーバー・インフラストラクチャ製品のロードマップを示し、BEA買収後のオラクルの製品およびサービス提供の現状と、今後の製品開発における方針を説明します。
セッション	【Java/REA】 Oracle JDeveloperで簡単実装！Webサービスの開発と利用	このセッションでは、Oracle JDeveloperを使用することで簡単に実装可能となるWebサービス開発について説明します。具体的には、自作のコードをJAX-WS Webサービスとして公開する方法や、既存のサービスを取り込んで自分のシステムに統合する方法、そしてWebサービスの設計とテストをおこなう方法などです。また、Oracle JDeveloperのREST Webサービスへ対応機能についても簡単に紹介していきます。
セッション	【Java/REA】 Oracle WebCenter/SOA/Enterprise 2.0による次世代複合アプリケーションの構築	Oracle Fusion Middlewareはとても数多くのスタックやコンポーネントを含んでいますので、これらを利用して複合アプリケーションを構築する際、どのコンポーネントをどのように使用するのか、状況に応じて適切なアプローチを判断するのは容易なことではありません。このセッションでは、モデリングやサービス開発など、複合アプリケーションをゼロから構築する方法について解説するとともに、サービス指向アーキテクチャ(SOA)、Oracle WebCenter、およびOracle Application Development Frameworkを利用した構築方法について紹介します。
セッション	【Java/REA】 Oracle WebCenter: インタラクティブなユーザー環境実現に向けたオラクルのビジョンと戦略	オラクルでは、企業規模で個々の従業員とチームそれぞれの生産性レベルを押し上げることでできる画期的な機能とサービスの実現に向けたOracle WebCenterの製品ロードマップを用意しています。このプレゼンテーションでは、Oracle WebCenterによるサービス指向アーキテクチャへの新しい複合ユーザー・インタフェースの統合などのトピックを取り上げます。セッションをとおして、より効果的なソーシャル・ネットワークを構築し、それをさらに発展させていくために、開発者とナレッジ・ワーカーがどのように連携して取り組んでいけばよいのかについて明らかにしていきます。
セッション	【Java/REA】 Oracle WebLogic Serverの概要	業界トップの性能を誇るアプリケーション・サーバーであるOracle WebLogic Serverは、エンタープライズ・クラスの重要なJavaアプリケーションの構築用として広く利用されています。開発生産性を向上させるためのさまざまな機能、また管理運用を効率化するための機能が豊富に揃えられています。このセッションでは、Oracle WebLogic Serverのテクノロジー・コンセプトについて簡単に紹介し、そのアーキテクチャと機能を使用することで、高い拡張性と信頼性を備えたアプリケーションの開発、配置、そして管理までを迅速かつ低コストでおこなえる方法に重点を絞って解説していきます。
セッション	【Java/REA】 RIA/Web 2.0の開発を容易にする新コンポーネント: Oracle ADF Faces Rich Client	Web 2.0アプリケーションの世代が到来しWebベースのアプリケーションの世界には今、新しいユーザー・エクスペリエンスの波が広がってきています。なかでも、レスポンスの速いダイナミックなインタフェースを提供して高い操作性を実現するRIA(Rich Internet Application)の存在を見逃すことはできません。このセッションでは、Oracle Application Development Framework(Oracle ADF) Facesのリッチ・クライアント・コンポーネントを使用することで、いかに簡単に、高度な機能を備えたユーザー・インタフェースの開発を実現できるかを解き明かすとともに、この新しいコンポーネントの各機能を取り上げ、これらの機能を使用することで得られるユーザー・インタフェースの設計上のメリットについて具体的に解説します。
セッション	【Java/REA】 業界最高を誇るJava永続化ソリューション: Oracle TopLink 11g	Oracle TopLinkは、高いパフォーマンスとスケラビリティを備えた包括的なJava永続化ソリューションを提供します。Oracle TopLinkのリリース11gでは、Java Persistence API(JPA)の実装、Java Architecture for XML Binding(JAXB)およびサービス・データ・オブジェクト(SDO)とのオブジェクト/XMLバインディング、そしてOracle CoherenceとのOracle TopLinkグリッド統合による高度なスケラビリティの実現など、業界最高レベルを誇るOracle TopLinkのオブジェクト・リレーション・サポートを提供しています。このセッションでは、複雑な永続化要件に対応しながら、Oracle Application Development FrameworkやOracleデータベースの数々の最新機能とのシームレスな統合を実現し、同時にグリッド・アーキテクチャの機能を徹底的に活用してアプリケーションのスケール・アウトを実施するための方法について重点的に解説します。
セッション	【Java/REA】 グリッドコンピューティング実現のもう一つの方法: Oracle Coherence徹底解説	際限のない拡張性と可用性の実現を目的として、多くのデータセンターでグリッドコンピューティング環境の導入が進んでいます。インフラの能力が増加する一方で、その複雑性もはますます増加する一方です。データグリッド技術を利用すれば、複雑性の問題を解決し、グリッドコンピューティングの環境を最大限利用できるようになるでしょう。このプレゼンテーションでは、Oracle Coherenceに焦点を当て、Oracle Coherenceのデータグリッド技術の利点をご紹介します。
セッション	【Java/REA】 次世代の開発ツール: Oracle Fusion Middlewareの開発プラットフォーム	このセッションでは、Oracle Fusion Middlewareの開発ツール(Oracle JDeveloper、Oracle Application Development Framework、Oracle WebCenter、Oracle SOA Suite)を使用して、強力なアプリケーションの構築に必要な迅速な宣言型の開発環境を実現する方法について解説します。また、デモンストレーションをとおして、現バージョンの開発ツールでアプリケーションを構築しておいても、将来的にはOracle Fusion Applicationsに統合できる方法を紹介するとともに、開発中のオラクルの次世代アプリケーションの開発環境についても、その一端をお見せします。

セッション	【Java/REA】 徹底紹介！ Oracle JRockit Mission Controllによるプロファイリングと診断機能	Oracle JRockit Mission Controllは、開発環境と本番環境のどちらの問題にも対応できる、低オーバーヘッドでの診断とプロファイリングが可能な診断ツールです。最新のバージョンでは、Oracle JRockitのJava Development Kit (JDK)をはじめとするスタンドアロンのリモート・プロシージャ・コール (RPC) アプリケーションとしても、EclipseにプラグインとしてインストールできるEclipseプラグイン・セットとしても使用可能となっています。このセッションでは、監視および診断や、待機時間分析などの各種プロファイリング機能に加え、メモリ・リークの検出や本番環境でのオンライン・ヒープ検査などについて紹介します。
セッション	【Java/REA】 ボトルネックバスターズ60分体験入隊	ようこそ、ボトルネックバスターズ養成所へ。このセッションでは、Oracle Universityで定期開催している『ボトルネック検出コース』をOracle OpenWorld Tokyo向けに特別にアレンジした内容で、皆さんにお届けいたします。Oracle Application Testing SuiteのLoad Testingを使用してWebアプリケーションの負荷テストを実施したレポートグラフの読み取り方法や、ボトルネックの特定方法をご紹介します。また、技術者が現場でよく遭遇する代表的なアプリケーションボトルネックについても解説します。これで、あなたもボトルネックバスターズ！
セッション	【Java/REA】 超高速トランザクション処理アプリケーションの基盤 - Oracle Tuxedo	このセッションでは、Oracle Tuxedoをはじめとするオープン・システムを使用して、大規模分散トランザクション処理向けのきわめて高いパフォーマンスを備えたインフラストラクチャを構築するためのテクニックについて解説します。また、一般的なハードウェア上にこのようなアプリケーションを配置し、巨額のコストを負担することなくメインフレーム・レベルの機能を獲得した顧客企業の事例についてもご紹介いたします。
ハンズオン	【Java/REA】 Java Persistence AP実装によるOracle Coherence データグリッド構築体験	このハンズオン・セッションでは、EclipseLinkのJava Persistence API (JPA) 実装を使用して、Oracle Coherenceのデータ・グリッド環境を実際に構築します。
ハンズオン	【Java/REA】 JavaServer Faces/Oracle ADF Faces Rich ClientコンポーネントによるRIAの構築	このハンズオン・セッションでは、Oracle Application Development Framework (Oracle ADF) Facesのリッチ・クライアント・コンポーネントを使用して、Webアプリケーション用のリッチ・ユーザー・インタフェースを構築します。リッチ・コンポーネントを使用することで、少ないコード量で簡単にWebアプリケーションにAjax機能を追加できる方法についてご紹介します。また、Oracle ADF Facesの多岐にわたるコンポーネントの機能と、それらを使用して革新的なユーザー・インタフェースを構築する方法についてもご紹介します。
ハンズオン	【Java/REA】 Oracle JDeveloperで簡単実装を体験！ Webサービスの開発と利用	このハンズオン・セッションでは、Oracle JDeveloperと新しいJAX-WS仕様 (Javaプラットフォームの一部、Enterprise Edition 5.0) を使用した、Webサービスの開発と利用についての実践的な演習をおこないます。Oracle JDeveloperを使用し、繰り返し実施するようなタスクを自動化することで、開発者の作業がどれほど簡単になるか、このセッションをとおしてぜひ実感してください。
ハンズオン	【Java/REA】 Oracle JRockit Mission Controllによるプロファイリングと診断の実践講座	このハンズオン・セッションでは、実践的な演習をとおしてOracle JRockit Mission Controllについて学習できます。演習用に用意されたさまざまな問題を、監視、パフォーマンス・チューニング、メモリ・リーク解決用のツールなど、この製品のもつ豊富な機能を使用して解決する形式で演習をすすめていきます。演習問題はどれも実際の環境を想定したものになっていますので、実践的な技術を学ぶことができます。
ハンズオン	【Java/REA】 Oracle Tuxedoによる高性能のトランザクション・アプリケーションの構築、配置、および管理	このハンズオンでは、Oracle Tuxedoの新機能を実体験していただけます。サービス・コンポーネント・アーキテクチャ (SCA) に対応した最新のコンテナの機能や、Oracle Tuxedo System and Applications Monitor (TSAM)、そしてネイティブのWebサービス対応機能など、Oracle Tuxedoの新機能を学ぶよいチャンスです。
ハンズオン	【Java/REA】 Oracle WebCenter Suiteで今すぐ使えるEnterprise 2.0の世界	Oracle WebCenter Suiteには、インフォメーション・ワーカーの業務効率を向上させる、統一感がありコンテキストを意識したユーザー・エクスペリエンス提供のための機能が取り入れられています。このセッションでは、ベースとなるOracle WebCenter対応のOracle Application Development Framework (Oracle ADF) アプリケーション開発方法をはじめ、Enterprise 2.0を実現するために必要な、既存のコンテンツの統合、ポートレットの取得、Oracle ADFコンポーネントへの書込みによるコンポーネント間通信などの機能について紹介します。さまざまなコンポーネントをマイページに追加するなど、ユーザーが自由にアプリケーションをカスタマイズできる機能を提供するツール、Oracle Composerの使用方法についても紹介します。
ハンズオン	【Java/REA】 Oracle WebLogic Server 10.3の新機能を体験！ アプリケーションの構築と配置	このハンズオン・セッションでは、Oracle Workshop for WebLogicのEclipseプラグインがインストールされたOracle WebLogic Serverを実際に使用していただくことができます。ここでは、導入として統合開発環境 (IDE) についての簡単なデモでEJB3/JPAツールについて紹介したあと、新しいバージョンのOracle WebLogicコンソール、FastSwap、アプリケーション・アップグレード、Oracle WebLogicのGUIによるXML編集機能、サーバー上でのアプリケーションの実行とデバッグ、新しいJava EE 5 JAX-WS Webサービス・ツールなど、Oracle WebLogic Serverの新しい機能について、明日からでもすぐ使える実践的な演習をおこないます。
ハンズオン	【Java/REA】 Oracle WebLogic Server 10.3の新機能を体験！ アプリケーションの構築と配置	このハンズオン・セッションでは、Oracle Workshop for WebLogicのEclipseプラグインがインストールされたOracle WebLogic Serverを実際に使用していただくことができます。ここでは、導入として統合開発環境 (IDE) についての簡単なデモでEJB3/JPAツールについて紹介したあと、新しいバージョンのOracle WebLogicコンソール、FastSwap、アプリケーション・アップグレード、Oracle WebLogicのGUIによるXML編集機能、サーバー上でのアプリケーションの実行とデバッグ、新しいJava EE 5 JAX-WS Webサービス・ツールなど、Oracle WebLogic Serverの新しい機能について、明日からでもすぐ使える実践的な演習をおこないます。
ハンズオン	【Java/REA】 次世代のアプリ開発： Oracle ADFのBusiness ComponentsとFaces Rich Clientを使いこなす	このセッションでは、Oracle Application Development Framework (Oracle ADF) を使用することでエンタープライズ・アプリケーションの開発がいかに簡単になるかを実感していただけます。GUIでの操作と少量のコーディングで簡単にJavaベースのアプリケーションを開発する方法を体験することができます。具体的には、Oracle ADF Facesのリッチ・クライアント・コンポーネントを活用したリッチなユーザー・インタフェースを備えたインターネット・アプリケーションを構築する方法や、Oracle ADFビジネス・コンポーネントを使用してデータベースとの連携の管理をおこなう方法について紹介していきます。